

### インフラ老朽化対策の 今後の取り組みは

#### 櫻谷議員

命をつなぐ道路確保、排水溝・側溝・橋の老朽化を早急に調査し、不備な箇所危険と思われる箇所は無いのか、お聞きします。

東の田中前線は、道路下に排水が流れています。もし、大地震が起きれば、陥没する恐れはないのか、お聞きします。

インフラ老朽化対策は、未だ出来ていない箇所はどれくらいあるのか、その優先順序はどうなのかお聞きします。

#### 福井町長

生活インフラである道路橋などは日常生活においても無くてはならないものがあり、大規模災害時には避難者の命にかかわるものです。来るべき南海地震、南海トラフ地震に備え、国や県の支援もいただきながら、できるだけ速やかに対策を

実施していきたいと考えています。

#### 寒葉建設課長

重要橋梁を含む100橋を点検済で、長寿命化計画、修繕計画をたて、25年度より修繕工事を実施しています。道路付属物、舗装について、25年度に路面等の調査を実施し、修繕計画の参考としています。

## 災害への備えと 発達障害児への支援は万全か

一山 稔 議員

東の田中前線の排水溝は、現在構造自体の調査を実施していませんが、今後、調査確認のうえ、修繕、維持管理等の方法を検討し、長寿命化を図れるように対応していきたいと考えています。また、地震津波に対応すべく避難路に通じる道路を特に優先して修繕等の計画を立てて実施していきたいと考えています。

各市町村は、食料と水を避難所へ備蓄するのを2014年から5年間で完了するとやっているが、本町の計画はどうか。また、今後の避難所の設置計画はどのようになっているのか。高台の避難所に備蓄倉庫を造り、貸しロッカーのような形のもので、希望する人が自分の備蓄品を各自の責任のもとで保管し、条例や要綱により管理をしていく

という考え、計画はどうか。災害時支援において、発達障害者の対策には、関係者の危機感が高く、文部科学省が公立小中学校の通常学級を対象に行った調査でも、発達障害児は6.5%に上るにもかかわらず、対策は進んでいないと言っている。本町における発達障害児に対する災害時の支援対策等の計画はどうか。



杉王地区備蓄倉庫(杉王神社)

#### 福井町長

牟岐町地域防災計画にて備蓄計画を定め、自らの命は自ら守ることとし、生活必需品は極力3日から1週間の備蓄を家庭や事業所でお願ひしています。町でも生活必需品の他、毛布や簡易トイレなど緊急時に必要な物を備蓄しているが、全町民に3日間支給できる数量は確保できていません。今後各施設等とも連携し、備蓄を確保したい。貸しロッカーのようなものは無いが、要望のある世帯の備蓄品を収納している

#### 仁田総務課長

備蓄品の保管状況は、町村別の備蓄目標数量があり、食料と飲料水、毛布の備蓄品もその数量を超えています。保管場所は、25箇所、内9箇所は各地域の

ところがあります。備蓄は、将来的な管理の継続が重要で、基本的には自主防災組織で検討していただき、要望があれば、町としても検討したい。避難所については、津波避難マップを作成中で、避難所を自分で選択できるマップを届けたい。